

松林防除実践講座の実施要領

月 日	平成18年9月28日(木)～29日(金)の2日間
集 合	ホテルメロポリタン秋田 9/28(木) 12:00 から受付を行います。部屋割りは参加者名簿と合わせ当日お渡しします。 9/29(金) 各自チェックアウト後、8:30 バスでホテル出発、夕日の松原(潟上市天王字浜山地内、道の駅てんのう駐車場に隣接する県有林)へ
参加費	別紙の郵便振替用紙または銀行振込にて18,000円(恐縮ですが振込手数料のご負担をお願いします)を9月15日(金)までにお振り込み下さい。
宿泊費	宿泊費は各自で精算して下さい。 (シングルルームを利用、1人朝食付き8,500円(税・サービス料込み)、夕食は別)
準備する物	筆記用具、作業着、軍手、タオル、雨具などを用意してください。 ヘルメット、作業用具は当方で準備します。

講座スケジュール

	時間帯	内 容
9/28 (木)	13:00～13:15	開会の辞(当センター企画広報室長) 来賓挨拶(秋田県森林整備課長)
	13:15～14:15	基調講演「秋田県における松枯れの現状と対策～秋田方式について」 年越し枯れのメカニズム、航空写真による被害木の確認など秋田県での先進的な試みを紹介。(秋田県立大学生物環境科学科教授 小林 一三)
	14:15～14:45	「松くい虫専門調査員制度について」 被害木の選定、産卵痕確認など伐倒駆除に係る知識・技術を備えた調査員の養成。 (秋田県森林整備課)
	14:45～15:45	「東北地方におけるマツ材線虫病の特徴:防除実務者の皆さんに知っておいていただきたいこと」 防除実務者として知っておくべきマツ材線虫病の温暖地とは異なる特徴について説明。 (森林総合研究所東北支所生物被害研究グループ 中村克典)
	15:45～17:00	特別講演「薬剤散布の環境中の動態と生態影響について」 群馬県でのスパウターによるマツグリーン液剤散布および有人ヘリによる水田への散布 薬剤調査データを中心として。(千葉大学園芸学部教授 本山 直樹)
	18:00～	交流会(予定)
9/29 (金)	8:30～15:00	実習場所:夕日の松原(ホテルからバスで移動) ① 当年松枯れ被害木の目視調査の要領 ② ①の被害木を伐倒、マツノザイセンチュウ検出の材片採取と顕微鏡による確認、マダラカミキリ産卵痕、幼虫の確認 ③ 「潜在感染木」の有無確認のための枯死木半径 15m 以内における松脂滲出調査(昼食) ④ 伐倒くん蒸処理(地元森林組合作業班)およびチップパーによる破碎処理(参加者)のデモンストレーション ⑤ アカゲラねぐら用巣箱の組み立てと設置(2人で1個組み立て) ⑥ 質疑応答(コーディネーター小林教授) ⑦ 講座修了証の交付 閉会の辞(当センター企画広報室長)
	15:00～	道の駅てんのう出発、秋田空港経由、JR 秋田駅東口解散